

ブロックと凝固能

	問題がない	個々の症例での判断
PT	≥ 50%	40~50%
APTT	基準値以上	基準値から1~4秒以内延長
血小板数	≥ 80 × 10 ³ / μl	50~80 × 10 ³ / μl
BT (simplat II)	< 8分	8~10分

抗血栓療法と神経ブロック

☆危険な処置

- ・ 一種類以上の抗血栓薬が投与されているときの Epi, Spi
- ・ Epi, Spi の穿刺後 1 時間以内のヘパリン使用
- ・ INR1.5~3.0、APTT1.5~2 倍でのカテーテル挿入、抜去

☆危険は少ないが十分な観察が必要な処置

- ・ INR1.5~3.0、APTT1.5~2 倍での Epi, Spi
- ・ INR1.5 未満、APTT1.5 倍未満でのカテーテル挿入、抜去
- ・ 単独でアスピリン、チクロピジンが使用されている時のカテーテル挿入、抜去

☆危険は少ないとされている処置

- ・ INR1.5 未満、APTT1.5 倍未満での Epi, Spi
- ・ 単独でアスピリン、チクロピジンが使用されている時の Epi, Spi

